



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター

令和6年10月

Vol.30

公共施設の現状2024

令和6年4月現在の本市の公共施設（建築物）の総量等について取りまとめ、「公共施設の現状2024」として公表しました。

施設数、延床面積とも前年度を下回りましたが、延床面積減少率を人口減少率が上回った結果、市民一人当たりの延床面積は、前年度に比べ微増となっています。

| 項目 | 2023公表値 【R5.4.1現在】 | 2024現状 【R6.4.1現在】 | 前年度との差 | 減少率 |
|-------|-----------------------|----------------------|---------|-----------|
| 人口（人） | 366,591 | 363,343 | △ 3,248 | △ 0.89% ↓ |
| 施設保有量 | 施設数 | 1,354 | △ 12 | |
| | 延床面積（㎡） | 1,649,305 | △ 5,741 | △ 0.35% ↓ |
| | 市民一人当たりの延床面積（㎡/人） | 4.50 | 4.52 | + 0.02 |

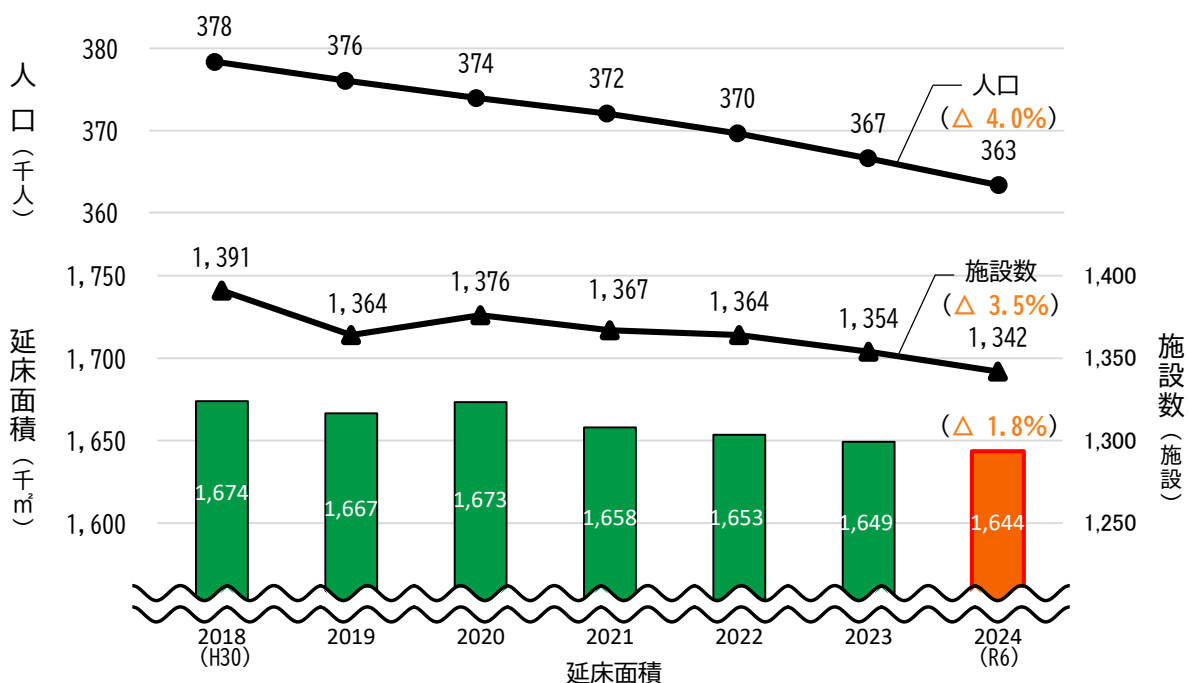
「公共施設の現状2024」のデータはこちらをご覧ください。



近年の施設総量の推移

本市の公共施設は令和6年度までの7年間で3.5%、延床面積は1.8%それぞれ減少しました。一方、人口も4.0%減少しており、今後の人口減少社会を見据え、ストックとコストのバランスを考えながら、適切な保有量を目指していきます。

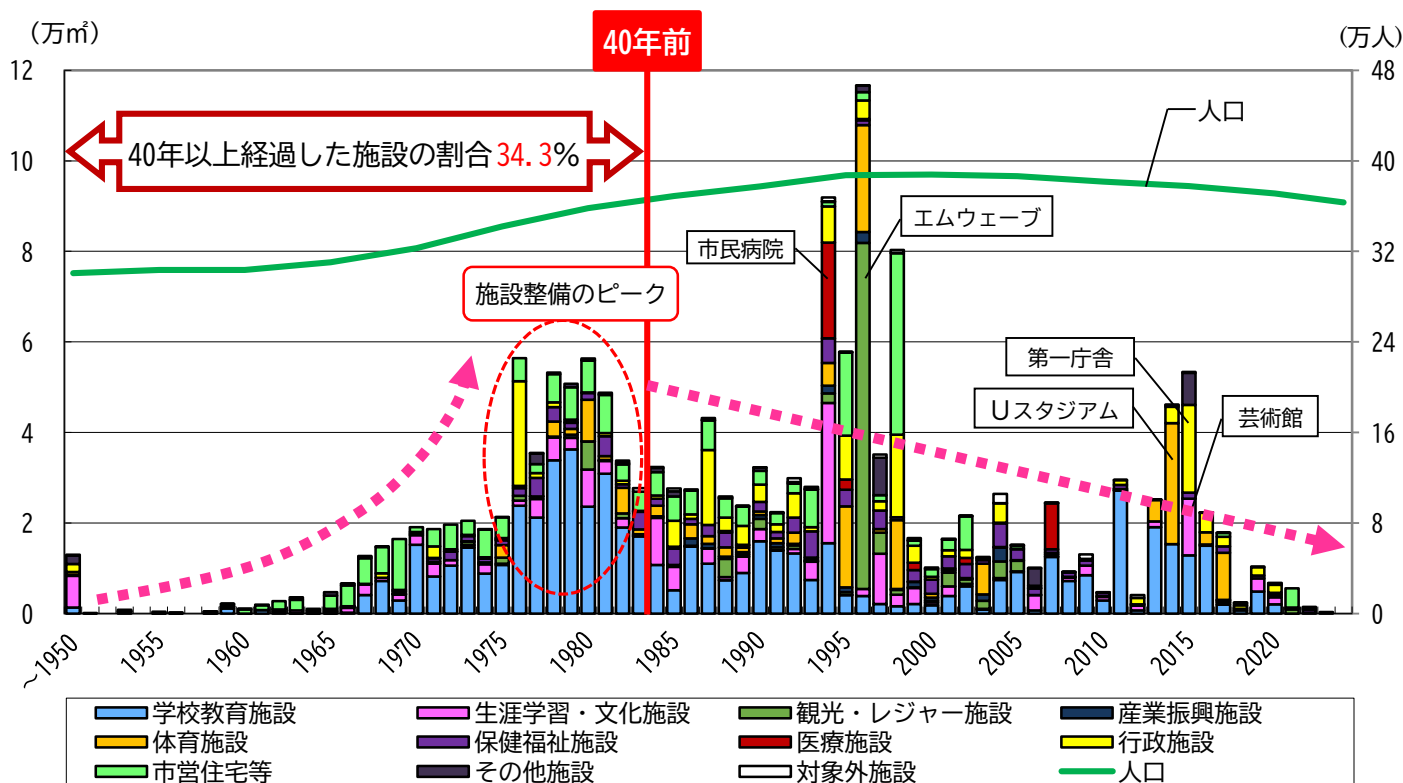
人口と施設保有量（施設数・延床面積）の関係



公共施設の整備状況

昭和55年度頃をピークに積極的に整備された施設の老朽化が一斉に進んでいます。

こうした老朽化施設については、今後の人口減少を見据え、建物をより長く使えるようにするための長寿命化改修工事を計画的に進めることにより、財政負担の平準化を図るとともに、総費用の削減を見込んでいます。



延床面積が増減した施設

前年度から延床面積が増減した主な公共施設は、下表のとおりです。

今年度の延床面積は、前年度から約6千㎡減少しました。

(単位：㎡)

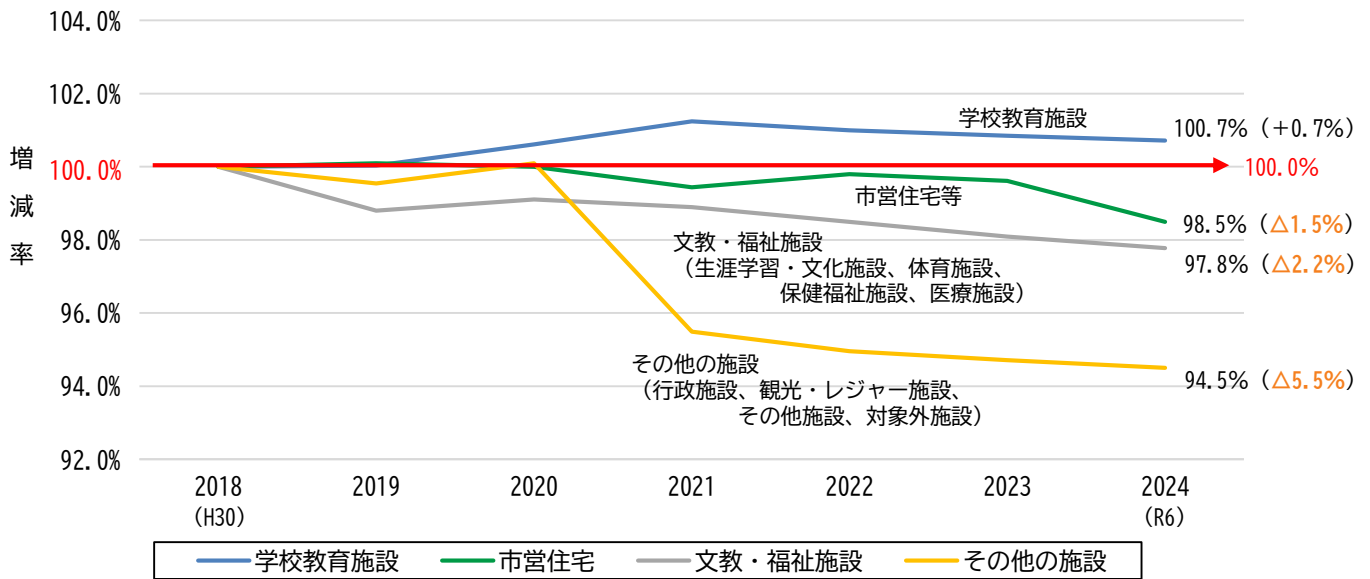
| 面積減の施設 | | 面積増の施設 | |
|---------------------|--------|-------------------|-----|
| 市営住宅 返目団地〔26-1号棟解体〕 | △1,413 | 長沼保育園〔新築〕 | 612 |
| 信州新町デイサービスセンター〔譲与〕 | △1,027 | 長野地域職業訓練センター〔増築〕 | 304 |
| 長野地域職業訓練センター〔3棟解体〕 | △805 | 長野市災害支援ターミナル〔新築〕 | 252 |
| 芋井農村環境改善センター〔解体〕 | △537 | 飯綱高原南グラウンド管理棟〔新築〕 | 139 |
| 旧鬼無里ふるさとの館〔解体〕 | △536 | | |
| 芋井支所〔解体〕 | △313 | | |
| 市営住宅 五明団地〔5棟解体〕 | △302 | | |
| 市営住宅 富竹団地〔2棟解体〕 | △248 | | |
| 市営住宅 屋地厚生団地〔7棟解体〕 | △227 | | |
| 品沢高原観光施設〔管理棟解体〕 | △206 | | |
| 市営住宅 屋地引揚団地〔3棟解体〕 | △151 | | |
| 市営住宅 屋地団地〔4棟解体〕 | △117 | | |
| その他〔面積錯誤等〕 | △1,181 | その他〔面積錯誤等〕 | 16 |
| 合計 △7,064 | | 合計 1,323 | |

増減 △5,741

施設分類別の施設保有量(延床面積)の推移

過去7年間で、学校教育施設は微増傾向にあり、平成30年度を超える状態が続いています。

一方、その他の施設、文教・福祉施設、市営住宅等では全体的に減少傾向にあり、特に、その他施設の減少率が最も高くなっています。

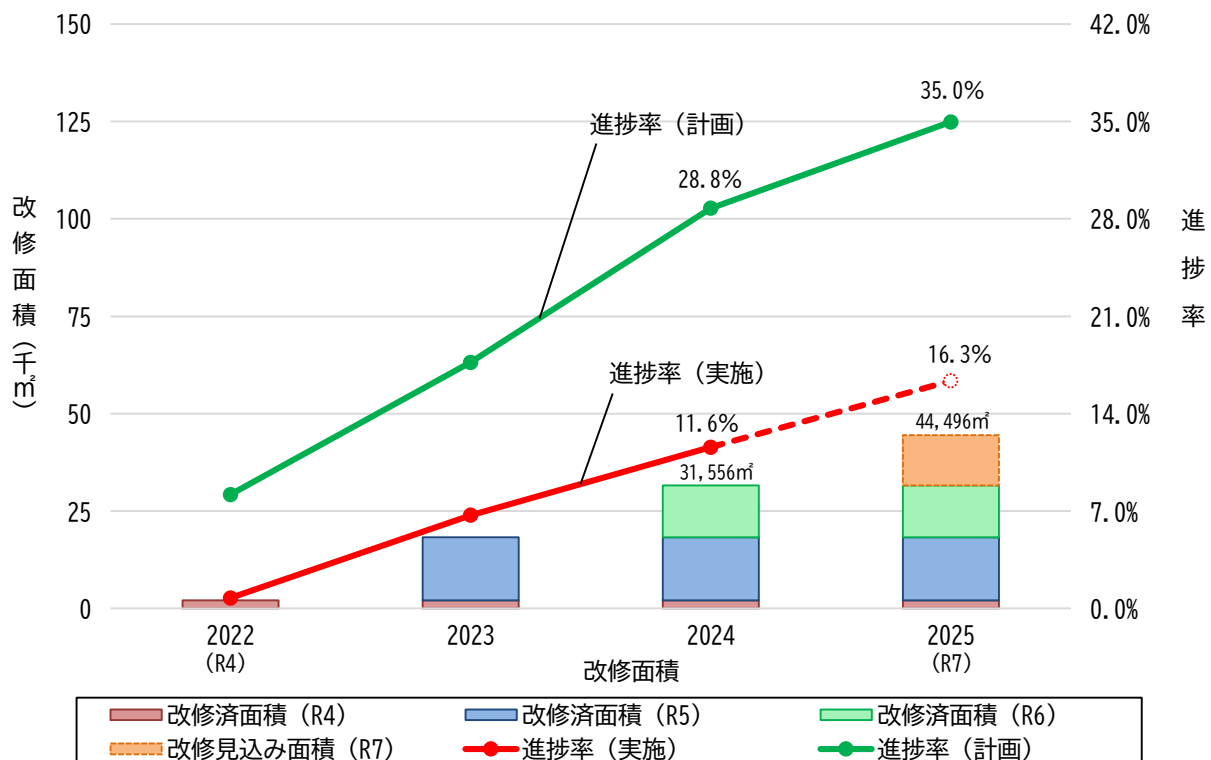


長寿命化改修工事の進捗状況

令和3年度から建物をより長く使えるよう改修する工事を計画的に実施しています。

改修工事は、40年目を目途に実施する80年間の利用を目指した長寿命化改修工事と、20年目・60年目を目途に実施する予防保全のための中規模改修工事などに分けられます。

長寿命化に取り組んでから3年経ちますが、これまでに改修工事を終えた総面積は約3.2万㎡、進捗率は11.6%に留まっており、進捗に遅れが生じている状況です。



ニュース・レター創刊から30回 ～これまでの取組～

平成28年5月に創刊した公共施設マネジメントニュースレターが、今回で30回目の発行を迎えました。これまでの公共施設マネジメントの取組を振り返ります。

1 時代とともに変化した市の課題や公共施設の状況

| 年号 | 人口 | 市の課題 | 公共施設 |
|----|-------------|--------------------|--|
| 昭和 | 増加 | ニーズ増加に対応したインフラ整備 | 数と量の増加 (施設の新築・増築) |
| 平成 | 少子高齢化・人口減少 | 大規模イベントへの対応、災害への備え | 施設の追加 (オリンピック) 安全性の最適化 (耐震化・防災対策) |
| 令和 | 人口減少のさらなる進展 | 財政規模の縮小、老朽化した施設の増加 | 再度の最適化 (総量調整・長寿命化) |

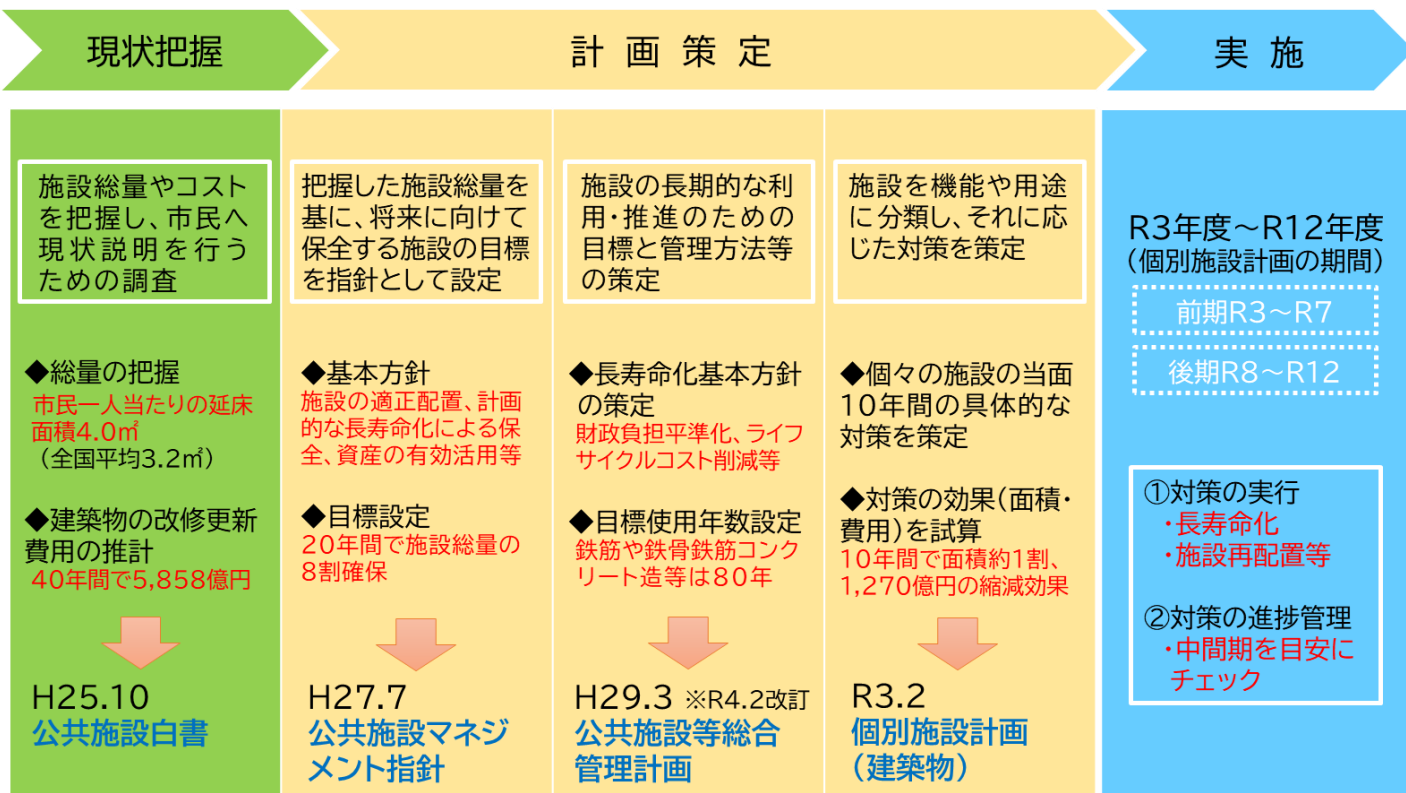
・長野市は、オリンピック施設等の大型施設を数多く保有していたこともあり、比較的早くから公共施設マネジメントに取り組む必要がありました。

・特に平成20年代には、人口減少や昭和時代に建設された施設の老朽化といった課題が顕在化し始めました。

・さらに、平成以降に発生した多くの災害や気候の温暖化といった大きな変化を受ける中で、施設に求められるニーズが変化してきました。

・こうした施設の状況や時代の変化に対応するために、適切なマネジメントが求められています。

2 公共施設マネジメントのこれまでの取組



3 この先の公共施設マネジメント

本市の公共施設マネジメントの取組は、公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づく実施段階に入っていますが、対策開始後も物価上昇などによる施設改修や運営コストへの影響、小中学校の閉校など、公共施設を取り巻く環境は大きく変化しており、今後の先行きが見通せない状況です。

このため、現在取り組んでいる計画も、P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルを意識しつつ、様々な変化に柔軟に対応しながら、時代に合ったマネジメントを進めていきたいと考えています。

今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、HPへ！ [【長野市ホームページ>市政情報>施策・計画>公共施設マネジメント】](#)

長野市 総務部 公共施設マネジメント推進課 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel : 026-224-7592 / Fax : 026-224-7964 / E-mail : koukyou@city.nagano.lg.jp

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。

